

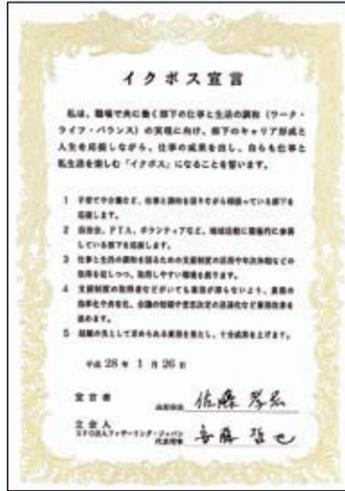
# 山形市長が「イクボス宣言」を行いました！



1月26日、佐藤市長は、部下のワーク・ライフ・バランスに配慮しながら、自らも率先して仕事と私生活を楽しむ上司「イクボス」になることを宣言しました。

当日は、NPO法人ファザーリング・ジャパンの安藤哲也代表理事の立会いのもと、宣言及び署名を行いました。

佐藤市長は、「若者も企業を選ぶ時代です。自分の夢が叶えられる、あるいは、仕事と家庭の両立（ワーク・ライフ・バランス）ができる、そんな企業を選ぶ時代です。これは自治体にも当てはまります。この山形に活気を創る、人が集まる山形にするという意味でも、ワーク・ライフ・バランスの実現、育休の取得推進など、率先して取り組んでいきたい」と決意を新たにしました。



みなさんもそれぞれの職場で、働きやすい・働きがいがある職場の環境づくりを進めていただき、山形市がより魅力あふれる街となるようご協力ください。

## 地域女性活躍推進事業男女共同参画講演会アンケート結果

講演会（第1回～第3回）の参加者からアンケートにご協力をいただきました。お寄せいただいたアンケート結果の一部をお伝えします。詳細は、山形市ホームページをご覧ください。

Q あなたは、各分野で女性のリーダーを増やすときの障がいとなるものは何だと思いますか？（複数回答あり）

	回答数	比率
現時点では、必要な知識や経験を持つ女性が少ないこと	108	9.7%
女性自身がリーダーになることを希望しないこと	162	14.6%
上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないこと	162	14.6%
長時間労働の改善が十分でないこと	228	20.5%
企業などにおいては、管理職になると広域異動が増えること	142	12.8%
育児・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと	256	23.0%
特に思い当たらない	16	1.4%
無回答	37	3.3%
計	1,111	—

山形市ホームページURL  
<http://www.city.yamagata-yamagata.lg.jp/>

山形市 検索

アンケート結果第2位の「長時間労働」は、第1位の男性の家庭生活への参加を妨げる一つの要因でもあります。まずは、働き方の改革が必要のようです。

★アンケートのご協力ありがとうございました★

## 編集後記

編集協力員

後藤 桂子  
 渡邊 園美  
 山下 みどり

別れあり、出会いあり、希望に胸をふくらませる春。我が子が通う学校では、卒業を迎える親子たちはともに成長してきた仲間の「いいところ」を伝え合い、自分たちの自信につなげてきたそうです。誰かから自分の「いいところ」を伝えられるとなんだか気恥ずかしい反面、心はほかほか。自分を再発見することができます。相手の「いいところ」を探すには

相手のことをよく知らなければなりません。早速我が家でも「いいところ」探し。子どものいいところ、夫のいいところ、たくさん見つけれました。普段なかなか伝えたことのない「いいところ」を本人に伝えてみんなの心がほかほか、我が家にひと足早い春がやってきたようでした。

(山下みどり)

●「ぶらーな」は、ここで配布しています。市役所1階刊行物コーナー・市民課待合フロア・5階男女共同参画課、霞城セントラル内の市の施設、市の公民館、コミュニティセンター、市立図書館、男女共同参画センター「ファーマ」  
 ●「ぶらーな」は、インターネットでも見ることができます。(山形市HPで「ぶらーな」で検索してください)  
 ●「ぶらーな」を読んだご感想・ご意見などありましたら、ぜひお寄せください。お待ちしております。



# ぶらな

山形市男女共同参画情報紙

PLANA  
 サンスクリット語で  
 命・息吹・息づかいの意味



## 地域女性活躍推進事業 男女共同参画講演会特集

- First stage →わたしらしくキャリアデザイン
- Second stage →目標達成へのプロセス
- Final stage →イクボスのすすめ